保証書別添

保　管　用

《木ネジ専用》

National

充電 オイルパルス インパクトドライバー

EZ7203NK・EZ7203X

取扱説明書

《プロ用》

- お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」（1～4ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：

1.専用の充電器や電池パックを使用してください。
- 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
- この取扱説明書に記載している電池パック以外は充電しないでください。

2.正しく充電してください。
- この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
  直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
- 温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
  電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

3.電池パックの端子間を短絡させないでください。
- 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。

4.感電に注意してください。
- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

5.作業場の周囲状況も考慮してください。
- 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

6.保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

7.防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

8.加工するものをしっかりと固定してください。
- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

9.次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

10.不意な始動は避けてください。
- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

11.指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

12.電池パックを火中に投入しないでください。

13.電池パックの液が目に入ったらただちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。

14.使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

⚠注意

1.作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2.子供を近づけないでください。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

3.使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- 充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4.無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。

5.作業に合った充電工具を使用してください。
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

6.きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7.充電工具は、注意深く手入れしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

安全上のご注意

⚠注意

8.充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

9.無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

10.調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

11.屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12.油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

13.損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

14.充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のないかたが修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

充電オイルパルスインパクトドライバー 安全上のご注意

先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電オイルパルスインパクトドライバーとして、さらに次にのべる注意事項を守ってください。

⚠警告

- **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
  埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。
- **使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。**
  けがのおそれがあります。
- **本体落下防止のため、吊りひもに手を通してご使用ください。また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。**
  材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。
- **使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**
  けがのおそれがあります。
- **1パック以上の連続使用はしないでください。**
  本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。
- **密閉された狭い場所で使用しないでください。**
  発煙、発火、破裂などのおそれがあります。
- **屋外で充電中のとき、雷が鳴り始めたら使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  落雷による火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

- **先端工具類(ビットなど)や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
  確実でないとはずれたりし、けがのおそれがあります。
- **使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。**
  回転部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。
- **作業直後の先端工具類（ビットなど）・ネジ・切りくず・電池端子は高温になっているので触れないでください。**
  やけどのおそれがあります。
- **細径ドリルは折れやすいので注意してください。**
  飛散して、けがのおそれがあります。
- **木工ネジ締め以外の作業（ボルト締め・穴あけ）には使用しないでください。**
  ドリルの刃先が欠けて、けがのおそれがあります。
  本体の温度が上昇し、やけどや故障の原因になります。
- **本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。**
  熱風によるやけどのおそれがあります。

各部のなまえ

本体

プロテクター

ビットホルダー
P10参照

先端プロテクター
P13参照

LEDライト
P11参照

スイッチ
P10参照

HS（打撃強弱）切替スイッチ

風穴

正逆切替スイッチ
P10参照

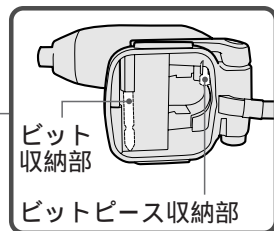
引掛フック
P12参照

吊りひも

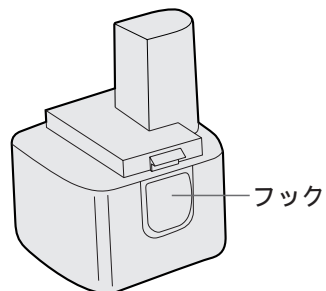
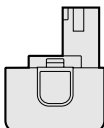
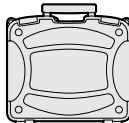
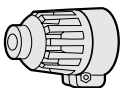
引掛フックロック解除レバー
P12参照

止めネジ

ビット収納部

ビットピース収納部

電池パック

（EZ7203Xには付属していません）

フック

充電器

（EZ7203Xには付属していません）

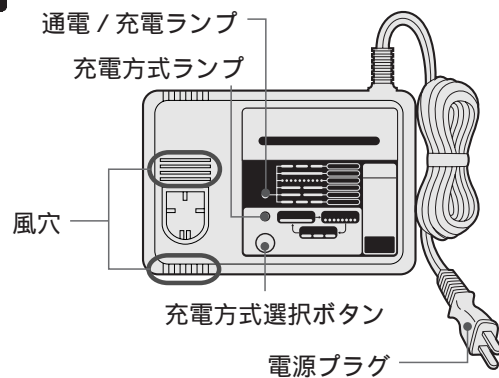
P7参照

通電／充電ランプ

充電方式ランプ

風穴

充電方式選択ボタン

電源プラグ

付属品・別売品

商品	付属品		別売品の有無
	EZ7203NK	EZ7203X	
両頭プラスビット＃2 EZ9BP221 （65mm）	○（1本）	○（1本）	○（2本組）
充電器 EZ0209	○	―	○
電池パック EZ9200	○	―	○
パックカバー	○	―	―（補修用部品）
ケース EZ9628	○	―	○
ビットピース EZ574B7817	―	―	○
深さアジャスター EZ9770	―	―	○

充電する

⚠警告

- **雨中では使用しないでください。**
  感電や発煙のおそれがあります。
- **直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。**
  発煙、発火のおそれがあります。

- **お買い求めのときは必ずリフレッシュ充電をしてください。** P14参照
  （電池の不活性化により本来の性能が発揮できないおそれがあります。）
- **電池パックHタイプ・Nタイプはニッケル水素電池パック対応の弊社専用充電器で充電してください。**

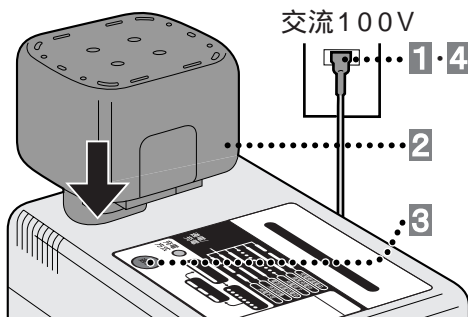
お知らせ

- 充電器は冷却ファンで電池を冷やしながら充電します。電池パックを充電器に差し込むと、ファンによる送風を始め、充電が完了すると送風量が少なくなります。
- 電源プラグを抜いた後も通電/充電ランプ、充電方式ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

お願い

- 0～40℃の場所で充電してください。直射日光、夏期のアスファルトの上など周囲温度が高い場所で充電しても電池パックの温度が約45℃以下にならないと電池保護のため充電を開始しないことがあります。
- 電池パックや充電器の風穴をふさがないでください。
- 2パック連続で充電した後は、充電器のご使用を約30分休止し、充電器を十分放熱させた後ご使用ください。
- 充電器のパック挿入部に手を入れないでください。端子の変形や故障の原因となります。

充電（充電器EZ0209、電池パックEZ9200の場合）

電池パックの状態や用途に合わせて、緑 エコ充電（電池にやさしい充電）、赤 急速充電（短時間充電）、橙 リフレッシュ充電（性能回復）の中から充電方式を選ぶことができます。

1 コンセントに電源プラグを差し込む
- 充電方式ランプ、通電／充電ランプが点滅する。

2 電池パックを底に当たるまで差し込む
- 通電／充電ランプが点灯に変わる。

3 充電パック差し込み後約30秒以内に充電方式を選ぶ
- メーカー出荷時、充電方式はエコ充電に設定されています。
- 充電方式選択ボタンを押すと順次切り替わる。

緑 エコ充電 → 赤 急速充電 → 橙 リフレッシュ充電 →（緑 エコ充電に戻る）

- 充電方式は電池パックを充電器に差し込んでから約30秒後に確定（記憶）※されます。約30秒経過後、充電方式を切り替える場合は、電池パックを充電器から一度取りはずして再度差し込んでください。
- 充電方式を選ばないと前回の充電方式で充電を行ないます。（リフレッシュ充電を除く）

※リフレッシュ充電を選択した場合は記憶されません。また充電方式確定前に電源プラグを抜いた場合も記憶されません。

4 充電後は電源プラグをコンセントから抜く

充電方式と表示について

充電器	方式と表示	充電時間	説明
充電方式 ○ 選択	エコ充電 緑 点灯 （メーカー出荷時はエコ充電に設定されています）	約45分～約85分 （EZ9200の場合） 充電前冷却時間を含む	〈エコ充電機能とは〉 熱い電池をファンでしっかり冷却した後、約45～85分かけて充電し、充電完了後も再度冷却します。電池にかかる負荷を低減したやさしい充電方式です。
	急速充電 赤 速い点滅	約22分 （EZ9200の場合）	● 電流を制御しながら、短時間で充電します。（最大約45分）
	リフレッシュ充電 橙 遅い点滅	約12時間以内	● P14参照

※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。

充電状態表示について

ランプ表示			充電器の状態	電池パック
通電/充電 ●	赤	点滅	充電器通電中	充電器に差し込んでいない
	赤	点灯	充電中　電池パックを充電中。	充電器に差し込んでいる
	緑	速い点滅	充電完了	
	赤	遅い点滅	電池保護充電中（最大約45分充電）　電池パックの温度が低いときや2カ月以上使用していなかったときに、充電電流を下げて、やさしく充電中。	
	橙	遅い点滅	冷却待機　電池パックの温度が高いときに、電池パックを冷却中。電池温度が下がると自動的に充電開始。	
	橙	点滅	充電不可　電池パック差込口のゴミづまりや電池パックの故障などのとき、充電できない。	

お知らせ

- 冷えた電池パック（約5℃以下）を暖かい場所で充電するときは電池パックを約1時間以上放置し、その場の温度になじませてください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。P19参照

準備～作業

準備中のご注意

警告

- **ビットや付属品の取り付け・取りはずしは、必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体から抜いてください。**
  急に動き出し事故のおそれがあります。

ご使用に際しては、関連法規や条例で定める騒音規制値以下であることが必要です。必要に応じて、しゃ音壁を設けてください。

作業中のご注意

警告

- **使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。**
  けがのおそれがあります。
- **本体落下防止のため、吊りひもに手を通してご使用ください。**
  また、高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。
  材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。

注意

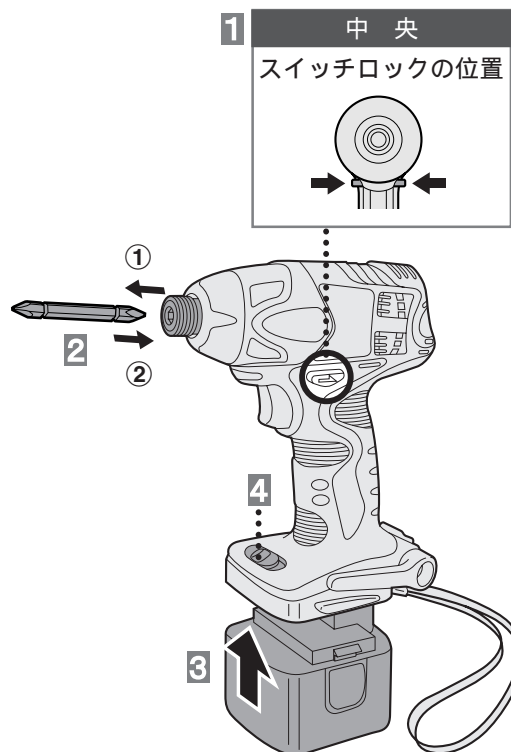
- **本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。**
  熱風によるやけどのおそれがあります。
- **ボルト締め・穴あけには使用しないでください。**
  ドリルの刃先が欠けて、けがのおそれがあります。
  本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。

- **本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。**
- **使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。風穴をふさいで使用すると、本体機能を損ない故障の原因となります。**

オイルパルスインパクトドライバー特性上のご注意

本機は、オイルの粘度を利用してトルクを発生する油圧式打撃工具です。オイルの粘度は温度により変化するため、以下の点に注意して作業を行なってください。

- **本体が高温になると保護機能が働き、締付力を抑制します。**
  - ・φ5.2×120mmの万能ネジ締付など、高負荷作業を連続で行なった場合、本体が高温になり、締付力を抑制する本体保護機能が働きます（電池残量がほとんどなくなったときのように締付力が落込むか、動作が停止します）。
    保護機能が働いた場合、十分に放熱させると（約30分以上）、通常の性能に戻ります。
  - ・保護機能が繰り返し働くような作業はさけてください。
- **本体が低温のときは使い始めに締付力が出ないことがあります。**
  - ・本体が低温（－10℃以下）のとき、使い始めはネジ締めに時間がかかる場合があります。この場合はネジ10本（30秒）程度ネジ締めしていただくと、通常のスピードに戻ります。

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

2 ビットを取り付ける

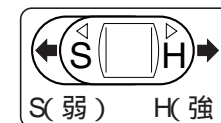
①ビットホルダーを引っ張りながら
②ビットを差し込む
- 軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

3 電池パックを取り付ける

- 電池パックが本体に固定されるまで差し込んでください。

4 HS（打撃強弱）切替スイッチでモードを選ぶ

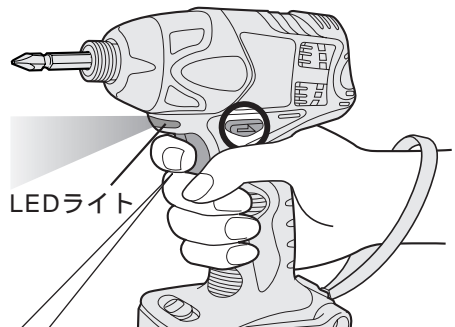
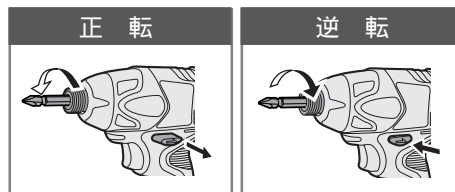
- 最後までスライドさせる。

S（弱）　H（強）

H（強打撃）モード	
最大打撃数1300回／分	
おすすめ作業	長いネジ締め等、強い力が必要な作業 ・造作時の長い木ネジ作業

S（弱打撃）モード	
最大打撃数800回／分	
おすすめ作業	仕上げ作業やネジ立て等力を抑えて行なうのが適切な作業 ・石コウボード貼り作業 ・サッシ取付作業 ・内装（ドア等）の取付作業…等

準備～作業

5 正逆切替スイッチで正転／逆転を決めてスイッチを入れる

正　転	逆　転

- スイッチを引き込むに従って回転数が上がる。(センター決めのときは、ゆっくりスタートする)
- スイッチをはなす(スイッチ切)とブレーキが作動。

- 正逆切替スイッチの操作はモータが停止してから行なってください。
  完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因になります。

LEDライトについて

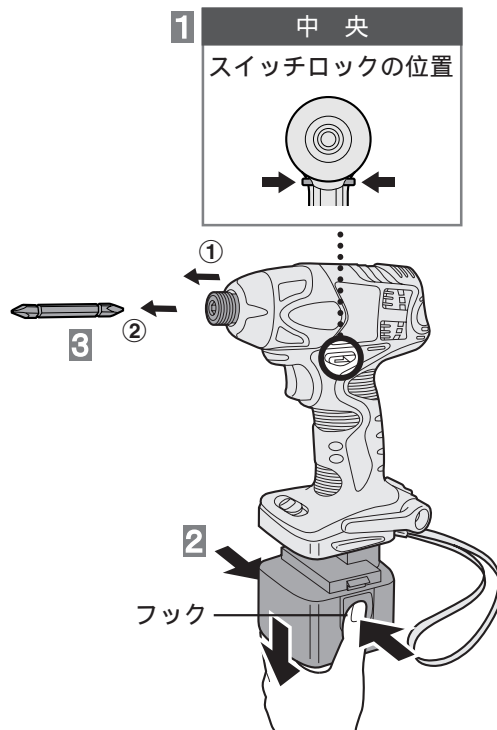
奥まった暗い場所や天井裏での作業時に、作業する部分を照らします。

- スイッチを引き込むと自動的に点灯。
- スイッチをはなす(スイッチ切)と消灯。
- ライトは微少電流で点灯します。本体作業能力にはほとんど影響ありません。

⚠注意

- **LEDライトは補助ライトです。懐中電灯としては使用しないでください。**
  事故やけがのおそれがあります。

作業終了

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする

2 フックを押しながら電池パックを抜く

3 ビットをはずす

①ビットホルダーを引っ張りながら
②ビットを抜く
- ビットは本体下部のビット収納部に保管してください。
  P6参照

お願い

- 本体を雨や水のかかるところや湿気の多いところに置いたり、保管しないでください。

引掛フックの使いかた

⚠警告

- **引掛フックは本体に止めネジでしっかり固定してください。**
  フックの取り付けが不完全なまま使用すると、事故のおそれがあります。
  定期的に止めネジの緩みを確認し緩んでいたら締め直してください。
- **引掛フックご使用のときは、本体の落下に十分注意してください。**
  引掛フックは本体を確実に固定するものではありません。本体が落下し、事故のおそれがあります。
- **引掛フックは、腰ベルトに根元までしっかり引っ掛けて、飛んだりはねたりしないでください。**
  フックが抜けて本体が落下し、事故のおそれがあります。
- **引掛フックはフックの角度が変わらないことを確認してからご使用ください。**
  フックが抜けて本体が落下し、事故のおそれがあります。
- **引掛フックを使用しないときは、収納位置に戻してください。**
  引掛フックが不意に引っ掛かり、事故のおそれがあります。

⚠注意

- **引掛フックを使って本体を腰ベルトに引っ掛けるときは、ドライバービット以外は取り付けしないでください。**
  ドリルビットなどの先端がとがったものを取り付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。

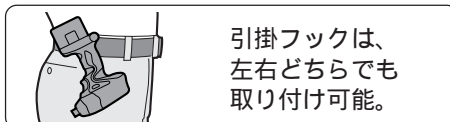
引掛フックを出す

① **引掛フックロック解除レバーをスライドさせながら**
② **引掛フックを上げる**
③ **図の位置で引掛フックロック解除レバーを離し、レバーが元の位置に戻っていることをご確認ください。さらに引掛フックが固定されているかご確認ください。**

- Ⓐの位置で確実に固定してご使用ください。
  Ⓑの位置では使用しないでください。

■**収納位置に戻すときは…**
①を行ない、フックを下げる。

引掛フックの左右の付け替え

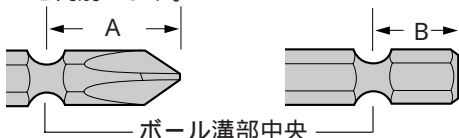
引掛フックは、左右どちらでも取り付け可能。

① **引掛フックを収納位置に戻す。**※
② **メダル形状のものを使用して止めネジをはずす。**

③ **引掛フックを反対側に取り付け、止めネジをメダル形状のもので最後までしっかりと締め付ける。**

※ 引掛フックは収納位置に戻さないと、付け替えができません。

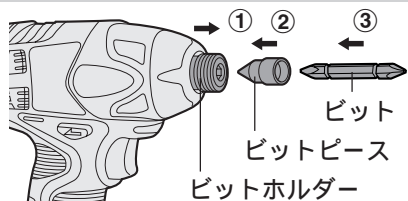
別売品の取り付けかた

ビットピース(別売)について

- ビットピースを使用すると、くわえ口サイズの異なるビットが装着できます。
- 下図の長さA・Bでビットピースの要／不要を判別します。

長さ		判別
A=16mm・B=13mm	▶	ビットピース不要
A=11mm・B=9mmの市販のビット・ソケット	▶	別売品のビットピースを併用

※**B=11.5mmのものは使用できません。**

※**ボール溝部のないストレートのビットは使用できません。(使用中にビットが抜けたり、取りはずしが固くなることがあります。)**

ビットピースの取り付けかた

深さアジャスター(別売)の取り付けかた

①先端プロテクターをはずす

②深さアジャスターを付ける

③蝶ネジを最後までしっかりと締め付ける

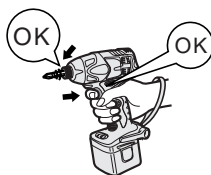
お手入れ・保管

お手入れのしかた

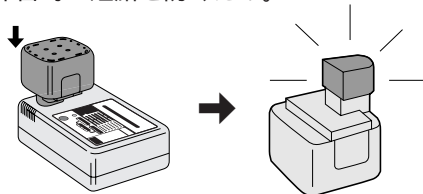
やわらかい布でふく

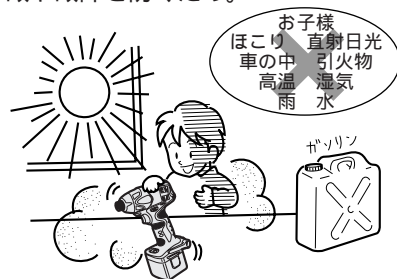
ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)

定期点検の実施

ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。

保管のしかた

電池パック(ニッケル水素電池)は充電した後、パックカバーをつける

電池パックを長持ちさせ、保管時の短絡を防ぐため。

保管は適切な場所で

事故や故障を防ぐため。

電池パックについて

⚠警告

- **電池パックを火中に投入しないでください。**
  破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

長持ちさせるために

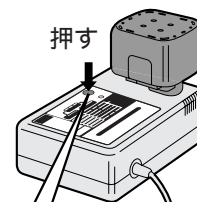
- 電池パック(ニッケル水素電池)は

カラになる前に	保管前に
▼	▼
継ぎ足し充電を !!	**フル充電を !!**

- 熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。

リフレッシュ充電のお願い

- 以前より作業量が減ったと感じたとき。
- 購入直後または使用後、充電して保管したが、2ヵ月以上放置した電池を使用するとき。

性能回復のため、リフレッシュ充電をしてください。

ボタンを押してリフレッシュ充電を選ぶ。(充電方式ランプ:橙点灯)

▼

12時間以内にリフレッシュ充電完了。

エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。
(充電方式の選択・操作 P7参照)

- 電池の状態に合わせて冷却ファンで電池を冷やしながらリフレッシュ充電を行なうためファンの回転数が途中で下がり、送風量が少なくなります。
- リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なうおそれがあります。

電池パックの寿命

寿命の目安/処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは電池パックの寿命です。
新しい電池パックをお買い求めください。

ニッケル水素電池リサイクルについて

この製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックを廃棄の際はお買い求めの販売店へお返しください。(電池パックは短絡防止のため、必ずパックカバーを付けるか端子部に絶縁テープを貼ってください。)

Ni-MH
ニッケル水素電池はリサイクルへ

※EZ7203Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。

本製品の使用電池

- 名称:密閉型ニッケル水素蓄電池(NタイプHR23/43)
- 公称電圧:1.2V/1個
- 数量:10個

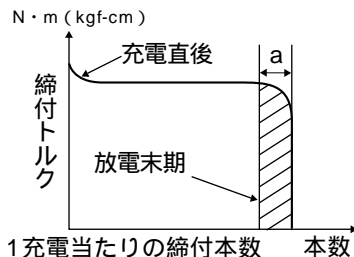
お知らせ

能力

適応用途

木　ネ　ジ	φ3.5〜φ9

締付トルク

締付トルクは電池パックの充電状態により変化します。右図は締付トルクと締付本数の関係を示した例です。
放電末期（図中a範囲）になると、打撃力は弱く、打撃数は少なくなり、急激に締付トルクが低下します。早めに電池パックの充電を行なってください。

1回のフル充電による使用能力

● EZ9200使用時/周囲温度20℃
※数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。
　また、締付本数は締付時間が長くなると少なくなり、短くなると増えます。

①ネジ締め

	ネジ寸法	材　料	締付本数	
			強（打撃力）	弱（打撃力）
コーススレッド（フレキ付）	φ4.1×38mm	パーチクルボード2枚重ね	180	—
万能ビス	φ4.2×75mm	米松	130	—
	φ4.2×90mm		90	—
ボード用スクリューネジ	φ3.8×28mm	石コウボード（厚み12mm）＋赤松	1000	650

仕様

本　体

モータ電圧	DC12V	打　撃　数	強（打撃力）：約0〜1300回/分
質量（重量）	1.75kg		弱（打撃力）：約0〜800回/分
大　き　さ	全長　全高　※幅 171×235×φ58（mm） ※電池パック最大幅88mm	回　転　数	強（打撃力）：約0〜2600回転/分
			弱（打撃力）：約0〜2200回転/分

充電器（EZ0209）

電　源	AC100V 50/60Hz	消費電力	198W
		質量（重量）	940g

充電可能な電池パック

※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
※エコ充電の充電時間は充電前冷却時間を含みます。

電池パックの種類			電池電圧							
材料	タイプ／容量		7.2V	9.6V	12V	充電時間 上段：急速 下段：エコ	15.6V	充電時間 上段：急速 下段：エコ	24V	充電時間 上段：急速 下段：エコ
ニッケルカドミウム電池	1.2Ah	C	EZ9066	EZ9086	EZ9006	約 9分 約20〜60分			EZ9016	約12分 約20〜60分
	1.2Ah	D	EZ9065 EZ9061	EZ9080	EZ9001	約 9分 約20〜60分				
	1.7Ah	E	EZ9165	EZ9180 EZ9182	EZ9101	約12分 約25〜65分			EZ9110 EZ9111	約17分 約25〜65分
	1.7Ah	S		EZ9181 EZ9183	EZ9102	約12分 約25〜65分				
	2.0Ah	F							EZ9116	約20分 約30〜70分
	2.0Ah	V		EZ9187	EZ9107	約15分 約30〜70分	EZ9137	約16分 約30〜70分	EZ9117	約20分 約30〜70分
ニッケル水素電池	2.0Ah	H	EZ9168	EZ9188	EZ9108	約15分 約30〜70分				
	3.0Ah	N			EZ9200	約22分 約45〜85分	EZ9230	約27分 約45〜85分	EZ9210	約30分 約45〜85分

※EZ9061は中間アダプターEZ0890（別売品）が必要です。
※本商品には、太枠の電池パックがご使用いただけます。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症状		考えられる原因	処置
充電時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電ランプが点灯する。		フル充電を検知するのに時間がかかるため。	そのまま放置してください。しばらくすると、充電完了表示(速い点滅)になります。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。		高周波で制御しているため。	別のコンセントで、または、テレビ・ラジオから離して充電してください。
	電池パックを差し込んでも充電ランプが点灯しない。	通電/充電ランプ点滅	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
		充電・待機を繰り返す	電池パックが熱くなっている。	充電器は周囲温度0～40°Cの範囲でご使用ください。 P7参照
				そのまま充電を続けてください。電池温度が下がると自動的に充電を開始します。
作業時	動かない。(ライトが点灯しない)		電池パックが充電されていない。	充電をしてください。
			電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	動かない。(ライトが点灯する)		本体が高温になり締付力を抑制する保護機能が働いている。	作業を中断し十分放熱してください。
	フル充電しているのに締付トルクが弱い。			
			温度が低い場所(0°C以下)で保管した電池パックを使用した。	再度充電し、充電完了になってからお使いください。
			HS(打撃強弱)切替スイッチがS(弱打撃)モードになっている。	HS切替スイッチをH(強打撃)モードにしてください。 P10参照
	スイッチを切ると、停止音がする。		ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
	充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。		電池パックの寿命。	新しい電池パックをお買い求めください。 P6参照
			冷えた電池(約5°C以下)を暖かい場所で充電した。	1時間程度放置し、その場の温度になじませて再度充電してください。
			電池パックが2ヵ月以上放置されていた。あるいは購入したばかりである。	リフレッシュ充電を行なってください。 P14参照

左記の点検をしてもなお異常がある → **ただちに使用中止**
- 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

その他
- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき「通電/充電」ランプが点滅しない。
- 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。
- 充電開始直後に「通電/充電」ランプも「充電方式」ランプも点灯・点滅しない。
- 「冷却待機」表示(橙:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電」表示(赤:点灯)にかわらない。
- 「充電」表示(赤:点灯)後、1時間以上充電しても「充電完了」表示(緑:速い点滅)にならない。
- 「リフレッシュ充電」を開始した後、13時間以上充電しても「通電/充電」ランプが「充電完了」表示(緑:速い点滅)にならない。

→ ただちに使用中止

保証とアフターサービス （よくお読みください）

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より6ヵ月間です。但しビットケース・電池パックは消耗品ですから保証対象外です。（電池パックのフックは有料修理させていただきます。）

補修用性能部品の保有期間

当社はこの充電オイルパルスインパクトドライバーの補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の17～18頁に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず充電器の電源プラグを抜いてから本体・電池パック・充電器をお買い上げの販売店にご依頼ください。

- **保証期間中は** お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは** お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は「修理ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365（ハイ 365日）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎06-6906-1090 〒571-8686 大阪府門真市門真1048 松下電工テクノサービス（株）
札幌 ☎011-261-6401㊟ 名古屋 ☎052-551-7900㊟
東京 ☎03-5392-7190㊟ 福岡 ☎092-622-0531㊟

商品・お取扱いなどのご相談は「お客様ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-713（ハイ ナイス）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

松下電工お客様ご相談センター
☎ 06-6904-4382
FAX 06-6904-4471
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

ご注意 ・㊟印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

0402

松下電工株式会社 パワーツール事業部

〔〒522-8520〕滋賀県彦根市岡町33番地

EZ901072031 502-2YY①